

高速道路の運転マナーが悪化しています

高知自動車道では昨年から交通量が大幅に増加しています。それに伴い事故や故障車、落下物の増加等、大事故につながりかねない事案も増加しました。その原因の一つとして高速道路を走行する上での運転マナーが悪化していることがあげられます。

あおり運転は危険で迷惑な行為です。事故と直結しますので絶対にやめてください。安全に車間距離をとり走行してください。

逆走

他車を巻き込む命にかかわる重大な事案です。特に高齢者の逆走が統計上多くを占めています。逆走開始場所として、「料金所を流入し流出方面に入っていく」「本線で方向の違いに気づきターンし逆走する」「SA・PAから反対方向に出てしまう」など：

その中で一番多かったのは、『高速道路を利用の際に気になる点がありますか?』の問いに対する、『運転マナーの悪化!!』でした。このような回答のほとんどが、高知・須崎東の暫定2車線区間で非常に多く発生しています。

あおり運転

車間距離をとらないと非常に時に回避行動がとれません。時速70km/hの道路では車間距離70m以上、雨の日はその倍以上と言われています。

管理隊も停止車両を発見すれば走行を促していますが、後を絶ちません。高速道路は駐車禁止です！ 非常駐車帯は事故、故障、急病等、非常時の緊急避難のために空けておいてください。

落下物

昨年12月14日に高知ICで高速隊・交通管理隊が交通管理権・道路管理権に基づき、積載不適当車両・過積載車両の指導・取り締まりを実施しました。その結果、何と44%の車両が積載物が落下する恐れがありました。落下物は落し主にすべての責任があります。出発前には、必ず落下物防止措置の確認をしてください。

——*

ドライバーの自己中心的な行動が、一歩間違えば重大な事故につながります。

高速道路を利用される方が安全に安心して走行できるように、高速道路での危険性を認識し、交通ルールを守って走行していただければ、事故・

故障・落下物は減少します。

我々、高速隊・交通管理隊もドライバーの安全・安心のため、全力で高速道路を守ります。

大切な、ご家族のためにも高速道路を利用するドライバーの皆さんに「ご理解、ご協力をお願いします」。

- 高速道路交通警察隊
- 交通管理隊 高知基地



受賞おめでとう ございます

いの町交通安全指導員兼高知県交通安全指導員の島崎博之氏が平成22年度高知県交通安全推進県民会議交通安全功労者表彰を受賞されました。

多年にわたり交通安全指導等交通事故防止活動に従事し、児童や高齢者の安全誘導に当たるなど、地域の交通安全推進のために尽力されました。

今後とも交通事故撲滅に向けてご活躍されますよう期待いたします。

総務課

